

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床病態論Ⅳ (脳神経・骨関節・眼・ 耳鼻咽喉)	学 期	前 期	中川 知憲 (医師) 松井 龍吉 (医師) 山藤 良史 (医師) 嶋田 一徳 (医師) 石光 亮太郎 (医師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	24	
		目的 (ねらい)	病態生理学で学んだ基礎的な病態に関する知識をもとにして、全身あるいは各臓器に発生する主要な疾患の病態、治療、検査について理解する。	
目 標	1. 脳神経系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 2. 骨関節系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 3. 眼に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 4. 耳鼻咽喉に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。			
授 業 計 画	担当教員：中川 知憲 松井 龍吉			
	1. 脳神経 (10 時間)			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	脳神経の解剖生理	脳、脊髄、神経および筋肉の構造と機能 神経症候学の基礎	講義
	2	脳血管障害 頭部外傷	脳梗塞・脳出血・くも膜下出血	講義
	3	脳腫瘍	原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍	講義
	4	神経筋疾患	重症筋無力症・進行性筋ジストロフィー 筋委縮性側索硬化症、周期性四肢麻痺	講義
	5	脊椎疾患 脊髄疾患 その他の疾患	脱髄疾患、変性疾患、多発性硬化症 急性散在性脳脊髄炎、パーキンソン病 アルツハイマー型認知症 先天異常、てんかん、感染症	講義
	担当教員：山藤 良史			
	2. 骨関節 (6 時間)			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	1. 運動器疾患に伴う 諸症状	疼痛、変形、診療、診断	講義
		2. 疾患に対する診断 と治療	骨折	講義
	2		先天性疾患 炎症性疾患	講義
	3		骨腫瘍、脊髄疾患	講義
	担当教員：嶋田 一徳			
	3. 眼 (4 時間)			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	眼の解剖生理	眼の構造と働き 眼科検査一般	講義
	2	眼科の主要疾患	白内障、緑内障、糖尿病網膜症	講義
担当教員：石光 亮太郎				
4. 耳鼻咽喉 (4 時間)				
回数	単元項目	内容	授業形態	
1	耳科学 1	耳科領域の解剖、聴覚、平衡機能 難聴、めまいの原因となる耳疾患	講義	
	耳科学 2	耳鼻科疾患の臨床、治療		
2	鼻科・咽頭・喉頭	鼻科領域の解剖生理 鼻領域の臨床 咽頭・喉頭の解剖生理、臨床疾患	講義	

<b>教科書</b>	1. 系統看護学講座専門 成人看護学[7] 脳・神経 (医学書院) 2. 系統看護学講座専門 成人看護学[10] 運動器 (医学書院) 3. 系統看護学講座専門 成人看護学[13] 眼 (医学書院) 4. 病気がみえる[13]耳鼻咽喉科 (MEDIC MEDIA)
<b>参考文献</b>	1. 系統看護学講座 人体の構造と機能[ I ] (医学書院) 2. 眼科学 (文光堂) その他、授業において、その都度紹介する。
<b>評価方法</b>	出席状況、定期試験より総合的に評価する 定期試験は 1. 脳神経 (100 点×0.4) 2. 骨関節 (100 点×0.2) 3. 眼 (100 点×0.2) 4. 耳鼻咽喉 (100 点×0.2) 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。
<b>関連科目</b>	解剖生理学 I・II、薬理学、栄養学、生化学、病態生理学、微生物学、看護学
<b>自己学習に関する指針</b>	1. テキストにより、脳の解剖と機能を少しでも勉強しておくこと。 2. 講義にて重要項目を示します。次回の講義までにその項目をノート、教科書で復習するようにしてください。 4. 講義にて重要項目を示します。配布する講義資料を中心に、教科書と参考図書で復習してください。
<b>その他の通知事項</b>	随時質問に応じる。